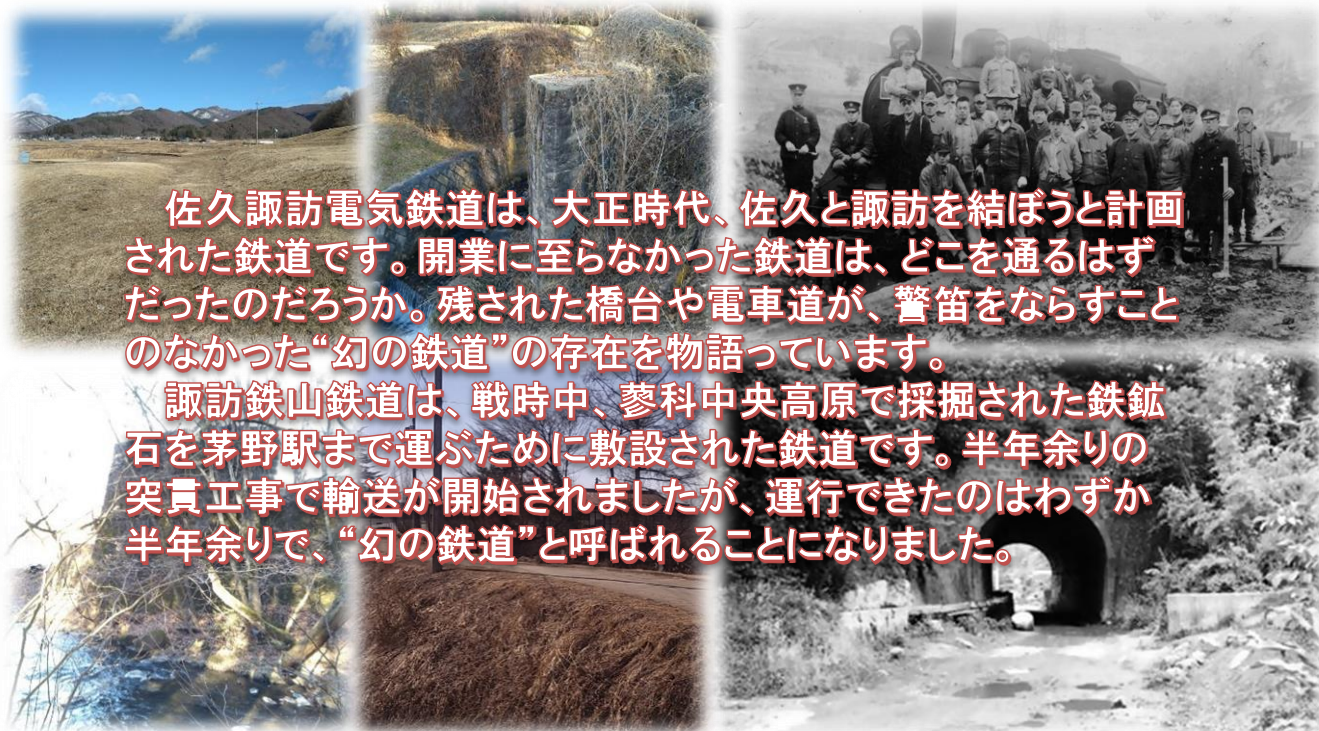


受講生募集



【茅野学講座】『佐久諏訪電気鉄道』と『諏訪鉄山鉄道』 2本の“幻の鉄道”跡を辿る



佐久諏訪電気鉄道は、大正時代、佐久と諏訪を結ぼうと計画された鉄道です。開業に至らなかった鉄道は、どこを通るはずだったのだろうか。残された橋台や電車道が、警笛をならすことのなかった“幻の鉄道”の存在を物語っています。

諏訪鉄山鉄道は、戦時中、蓼科中央高原で採掘された鉄鉱石を茅野駅まで運ぶために敷設された鉄道です。半年余りの突貫工事で輸送が開始されましたが、運行できたのはわずか半年余りで、“幻の鉄道”と呼ばれることになりました。

◇ 期日 令和7年5月19日（月） 〔小雨決行〕

＊悪天候で実施できない場合は、中央公民館2階学習室で「写真を用いた解説」に替えさせていただきます。〔9:00～10:30〕

◇ 講師 みやさか としろう 宮坂 敏郎 先生（諏訪鉄山の歴史保存をすすめる会）

◇ 日程 〔現地探査 マイクロバスで移動〕

＊注：足元の悪い場所を歩きます。運動靴を履いてご参加ください。

中央公民館玄関前集合 8:45 中央公民館出発 9:00

⇒ 栗沢橋脚の一部（車窓から）⇒ 鬼場橋台の石積み ⇒
長倉開渠橋台 ⇒ 湖東築堤（電車道）⇒ 芹ヶ沢橋脚 ⇒
湯川駅予定地

⇒ 鉄山鉄道花蒔駅跡 ⇒ 鉄道敷設跡（旧ビーナスライン）⇒
中央公民館帰着 解散 正午

◇ 対象者 市内在住者、在勤者、在学者 ◇ 定員 16名

◇ 費用 無料

◇ 受付 4月30日（水） 午前10時から

＊申込み先 茅野市中央公民館 TEL 72-3266
（電話での受付のみとなります）